

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	防犯対策事業							担当部	環境交通部						
	会計区分	一般会計				事業類型	一般		担当課	交通防犯課						
	事業期間	平成12年度以前				～	平成30年度以降		担当係	交通防犯係						
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		9 防犯・交通安全			1 防犯活動の充実を図る								
		副目的	9-2													
	予算区分	款	2		項	7		目	4		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	4 %			委託	%			助成	96 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	防犯ボランティア団体、地域の自主パトロール隊、防犯灯設置などを積極的・長期的に支援して、防犯活動や防犯対策の促進を図る。また、自分の身の安全は自分で守るという意識を強くもち、地域と密着しながら防犯意識の高揚を図る。														
	内容 (手段)	<p>市民が安全で安心した生活ができるように市民自らが自主防犯パトロール隊を結成して行う防犯活動の立ち上げを呼びかける。地域において安全で安心なまちづくりに資する活動を行っている団体を支援するために防犯パトロールへの装備や活動費の補助をする。防犯パトロール隊と連携しながら防犯意識の高揚を図るため市民総決起大会を開催する。</p> <p>また、防犯に対する意識を高めて行くことが必要であり、広報や警察署と連携を図り行うことにより、犯罪に合わないような方法や犯罪状況、犯罪手口等の情報を提供するとともに、夜間の路上等の犯罪を未然に防止するため、防犯対策に効果的な防犯灯の設置や維持管理の補助を行った。</p> <p><H23年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロール活動費補助額 7,084,445円 防犯灯の設置及び維持管理補助 <ul style="list-style-type: none"> 設置費 18,405,957円 維持管理費 42,778,480円 防犯対策補助金 2,477,800円 														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	64,879	65,852	70,908	81,794	
		正職員	従事者数	人	0.65	0.65	0.65	0.65
			人件費	千円	3,457	3,457	3,457	3,457
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	68,336	69,309	74,365	85,251	
	対前年比	%		101.4	107.2	114.6		
財源	一般財源	千円	68,336	69,309	74,365	85,251		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	防犯パトロール団体 (総数)	隊	目標		56	67	78
実績				57	68	73	
防犯灯設置数	灯	目標		772	484	392	392
		実績		532	497	368	
防犯講座回数	回	目標		30	30	40	30
		実績		36	33	11	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	刑法犯認知件数	件	目標		—	—	—
実績				3,397	3,018	2,674	
講座受講者数	人	目標		2,000	2,000	2,200	
		実績		2,070	2,000	1,186	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	区長会や各種会議などにおいて、防犯パトロール隊の発足を呼びかけたことにより、5団体が新規に発足できた。防犯灯はLED防犯灯を推奨しつつ、368灯新設し、8,369灯の設置に至っている。
		事業実施における課題等	防犯パトロール活動の範囲が、市内全域に及んでいないため、地元区や市民へ防犯パトロール団体の立ち上げを更に呼びかける必要がある。LED防犯灯化を更に進める必要がある。防犯講座を通し、地域力を高めたり、地域の団結や連携の大切さを深める必要がある。防犯講座を通し地域力を高めるため地域の団結・連携の大切さを呼びかける必要がある。
		事業を縮小・廃止したときの影響	地域においての連携が薄れている今、防犯パトロール活動は、地域力を高める重要な活動である。廃止をすれば、各防犯パトロール団体の継続的な活動が不可能となり、地域力や市民の防犯意識が薄れてしまい、犯罪が多発する。
	今後の事業の方向性	方向性の判定	拡充
判定理由		安全で安心に暮らせるまちづくりは、市民の切なる願いである。地域と行政と警察などとの連携を図り、継続的に防犯パトロール活動を行うことが、犯罪減少に効果的なため、今後も継続して、更に防犯パトロール活動の範囲を市内全域まで拡げる考えから。また、引き続きLED防犯灯化が必要なため。	
改善案等		市内の全区長へ防犯パトロール団体の立ち上げの更なる必要性を呼びかけるとともに、ホームページに掲載する。防犯灯については、機器の取替え時期にあわせ、LED防犯灯を設置していただくよう、引き続き、推奨していく。防犯講座を通じ、地域の団結や連携の大切さを呼びかけていく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡充	防犯パトロール隊への補助は、今後も継続し、引き続き未発足区に発足の呼びかけを行っていく必要がある。防犯灯は、機器の取替えに合わせ、順次LED化を進めていく必要がある。